精神保健福祉

みやざき

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

66

2026

表紙説明　飫肥（大手門）（提供：日南市）

飫肥は天正１６年（１５８８年）に伊東祐兵が入城してから明治２年（１８６９年）の版籍奉還まで、伊東氏の城下町として栄えました。

門構えと石垣が美しい街並みをつくり、武家屋敷が残る風景は、九州で最初の重要伝統的建造物群保存地区に選定されています。

徒歩圏内に施設が数多く点在しているので、着物を着て情緒ある風景の中をゆっくり散策するのがおすすめです。

「青いＴシャツ」に込められた願い

この青いＴシャツ（愛称：青Ｔ）には、
人知れずいつもたった一人ぼっちで悩み続ける方に向けて、
隣にいる誰でもかまわないから　何時でもかまわないから　少しだけでもかまわないから
「ひとりで悩まないで　誰かに話してみませんか」
というメッセージが込められています。

みやざき こころ青Ｔねっと
http://www.m-aot.net

さまざまな悩みや心配事、心の病気などを抱えている方のために、相談窓口や生きがいづくりの場などを案内する宮崎県民向け情報サイトです。
ホームページアドレス　https://www.m-aot.net

目　　次

第６５回　宮崎県精神保健福祉大会（令和７年度開催）
「ささえあい　～日向（ひなた）から笑顔を発信しよう～」…… 3

精神保健福祉事業功労者（令和７年度）
宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰（個人８名）…… 4

表彰受賞者の声（令和７年度）
一般社団法人宮崎県断酒友の会事務局幹事
白木　強　（宮崎市）…… 8
相談支援事業所りーふ管理者　山元　克也　（都城市）…… 9
一般社団法人宮崎県断酒友の会えびの支部会員
川野　三枝子（えびの市）…… 10
特定非営利活動法人ハッピーデイズ理事　石村　れい子（新富町）…… 11
日向市・東臼杵郡障がい児者基幹相談支援センター長
久光　博之　（日向市）…… 12
協和病院自立支援相談支援室管理者　黒木　康彦　（日向市）…… 13
パソコン勉強会講師（ボランティア）　中島　洋史　（延岡市）…… 14
特定非営利活動法人彩り　就労継続支援Ａ型・Ｂ型多機能事業所にじいろ施設長
田尻　哲朗　（高千穂町）…… 15

第２５回宮崎県障がい者スポーツ大会報告…… 16

第２５回宮崎県障がい者スポーツ大会参加者紹介
なごみの会「なごみんぐ」（椎葉村）…… 17

各地域精神保健福祉協議会の動き
宮崎東諸県地域精神保健福祉協議会…… 18
日南串間地域精神保健福祉協議会…… 19
都城北諸地域精神保健福祉協議会…… 20
西諸地域精神保健福祉協議会…… 21
西都児湯地域精神保健福祉協議会…… 22
日向入郷地域精神保健福祉協議会…… 23
延岡地域精神保健福祉協議会…… 24
西臼杵地域精神保健福祉協議会…… 25

精神障がい者支援組織・グループの動き

特定非営利活動法人宮崎県精神福祉連合会 …… 26
一般社団法人宮崎県断酒友の会 …… 27

地域で活動する自助活動グループ等の紹介

精神障がい者地域家族会　日南あさがお会（日南市）…… 28

宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

令和７年度事業実績 …… 29
令和８年度事業計画 …… 30
宮崎県精神保健福祉連絡協議会　役員名簿 …… 32
宮崎県精神保健福祉連絡協議会　会員名簿 …… 33

宮崎県精神保健福祉センターからのお知らせ

第６５回 宮崎県精神保健福祉大会

テーマ　：　「ささえあい　～日向（ひなた）から笑顔を発信しよう～」

１　開催日時　　令和７年１１月８日（土）１２：００～１５：３０

２　場　　所　　日向市文化交流センター

３　参加人数　　４７５名

４　大会内容

⑴　式典（表彰）

宮崎県知事表彰	３名　１団体
宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰	８名
宮崎県精神科病院協会会長表彰	１１名

⑵　体験発表

「It's My Life　～ピアサポーターとして、自分らしく～」

ピアサポートグループ　リフレッシュへべす会

⑶　特別講演

演　題　「限りある人生を限りなく楽しむ為に　～人生は UP to ME ～」

講　師　シンガーソングライター　真北　聖子　氏

⑷　アトラクション、展示・販売コーナー

宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰

氏　名	住　所	所属･職名(職種)	功　　績　　概　　要
白木（しらき）　強（つよし）	宮崎市	一般社団法人宮崎県断酒友の会 事務局幹事 元宮崎支部長	平成１３年に宮崎県断酒友の会に参加し、平成２７年からは宮崎県断酒友の会宮崎支部長として、令和６年３月までの約９年間にわたり、アルコール依存症に苦しむ方々への支援をしてきた。 月５回行われている断酒例会に欠かさず参加し、自身の運転免許を返納する前までは、延岡支部や日向支部等の他の断酒例会にも参加し、県内全域の断酒会の縁の下の力持ちとして、欠かすことができない存在である。 宮崎支部長の時は、宮崎市自殺対策協議会や東諸県地域自殺対策推進協議会の委員として、自殺対策にも尽力してきた。現在は後進にその役職を譲ったが、引き続き事務局幹事として会の運営に尽力しており、これらの活動は精神保健福祉の推進に大きく貢献している。
山元（やまもと）　克也（かつや）	都城市	相談支援事業所 りーふ管理者 精神保健福祉士 相談支援専門員	昭和６３年に医療相談員として藤元病院に入職後、精神科病院や地域活動支援センターなどで勤務し、精神障がい者を含む幅広い対象者への支援を行ってきた。 令和６年８月より相談支援事業所りーふの管理者として従事。これまでの長きにわたる勤務経験の繋がりで、継続的に支援している精神障がい者も多く、現在約８０名の相談支援業務を担当している。その他、措置入院を繰り返すケースや、制度のはざまに置かれた対応困難なケースにも積極的に関わるなど、精神障がい者が地域で安心して過ごすための生活環境の基盤づくりに精力的に取り組んでいる。 相手を尊重した関わりや、話をよく聞くことを大切にしており、対象者一人ひとりに寄り添った支援を行っているため、多くの精神障がい者や支援者から信頼を寄せられている。また、地域で生活する精神障がい者の暮らしを支える活動は、細やかで柔軟な関わりであり、後に続く者の模範となり、地域の精神保健福祉の推進に大きく貢献している。

氏　名	住　所	所属･職名(職種)	功　　績　　概　　要
川野（かわの）　三枝子（みえこ）	えびの市	一般社団法人宮崎県断酒友の会 えびの支部会員	平成８年にアルコール依存者である夫とともに宮崎県断酒友の会えびの支部に入会。 平成１２年１月から平成２８年まで宮崎県断酒友の会えびの支部会長を務めた夫とともに、精力的に活動。県内外の断酒会支部や全国大会、保健所のアルコール家族教室等、数多くの場に夫婦で参加し、夫の断酒継続と共に、アルコール依存症の家族に寄り添い、悩みを傾聴したり、対応方法の助言をしたり等、他の方の手本となっている。 また、えびの市役所と連携し、当事者や家族への相談支援や１１月のアルコール関連問題週間やえびの市産業文化祭における啓発への協力や看護学生への講話の実施など、アルコール依存症への正しい知識の普及や理解促進にも尽力し、地域の精神保健福祉の推進に大きく貢献している。
石村（いしむら）　れい子（こ）	新富町	特定非営利活動法人ハッピーデイズ 理事	平成１６年より、新富町精神障がい者福祉会ふたば会に参加し、富養園家族会が立ち上げた精神障がい者グループホームの入居者に対して、グループホームでの行事や活動・生活に理解を示し、協力的であった。当時は地域での精神障がい者に対する誤解や偏見・無理解が多かったが、入居者にとっては、安心して地域生活を送る上で大きな支えとなった。 また、平成１８年の特定非営利活動法人ハッピーデイズ立ち上げ時より、地域協力者（ボランティア）の理事として、現在もイベントや会議に積極的に参加し、第三者的視点からの貴重な意見やアドバイスを行っている。 季節毎のイベント等を通して、精神障がい者の家族が繋がれる場として、参加した家族に積極的に声を掛けたり、ある時は家族に寄り添ったりしている。 親しみやすく温かな人柄は、グループホーム入居者の家族からも頼られる存在であり、良き相談相手になる等、入居者はもとより家族にとっても欠かせない存在となっている。それと共に、各イベントを通じて、地域の人々とも積極的に交流をして、地域における精神障がい者への理解を深める機会を作っている。 これまでの活動を通して、精神障がい者の地域生活促進及び地域精神保健福祉の発展に貢献しており、その功績は顕著である。

氏　名	住　所	所属･職名(職種)	功　　績　　概　　要
久光（ひさみつ）　博之（ひろゆき）	日向市	日向市・東臼杵郡障がい児者基幹相談支援センター長 主任相談支援員	平成９年から在宅の障がい児・者の福祉全般に携わり、在宅福祉に係る社会資源が不足していた当初から精神障がい者の地域移行支援に取り組んできた。 平成１８年にはそうだんサポートセンターしらはまセンター長、令和２年に日向市・東臼杵郡障がい児者基幹相談支援センター長に就任し、個別支援から地域の支援者の人材育成まで多くのことに尽力している。 また、日向入郷地域での協議会委員だけでなく、令和元年度からは宮崎県精神障がい者地域移行支援事業実行委員、宮崎県相談支援専門協会代表理事を担い、県内で活躍している。 「ひとりの生き方を大事にする」ことを信条とし、真摯に向き合う姿勢は、患者だけでなく、多くの支援者からも信頼を得ている。 日向入郷地域の障がい者福祉全般において中心的な存在であり、精神保健福祉活動における功績は大きい。
黒木（くろき）　康彦（やすひこ）	日向市	協和病院自立支援相談支援室管理者 相談支援専門員	平成１９年に精神保健福祉士の資格取得後、協和病院で、医療ＳＷとして患者や家族の相談支援、社会復帰への支援に携わってきた。 また、地域貢献活動として、平成２３年に日向地域活動支援センターはまゆうに異動したこと、同時期に日向市自立支援協議会の委員となったことを契機に、個別支援から地域の課題やニーズを見出し、地域づくりを進めてきた。ピア活動にも積極的に取り組み、平成２３年から現在まで継続した支援を続けている。 親しみやすい人柄や、病院、福祉、行政の３者を繋ぐことを意識し支援に従事する姿勢は、地域の精神保健福祉におけるネットワーク構築に大きく貢献している。 日向入郷地域の地域移行支援をはじめとする精神保健福祉事業の中心的な存在であり、患者や支援者からの信頼も厚く、精神保健福祉活動における功績は大きい。

氏　名	住　所	所属･職名(職種)	功　　績　　概　　要
中島（なかしま）　洋史（ひろふみ）	延岡市	パソコン勉強会講師（ボランティア）	自身も精神疾患を抱えており、地域活動支援センター「みなと」を利用していたところ、パソコン関係が得意であることを知った「みなと」施設長から声がかかり、平成３０年６月以降、月１回、「みなと」でパソコン勉強会講師としてボランティア活動を開始した。勉強会は、パソコンの使い方だけでなく、不審電話や迷惑メールの対応等、スマホや携帯電話の使い方を勉強する機会も取り入れており、日常生活に役立つ内容としている。 優しい人柄や、一人一人に丁寧に誠実に向き合う姿から、勉強会参加者（精神障がい者を含む「みなと」利用者）から厚い信頼が寄せられている。 特例子会社へ就職した現在も、時間を作って「みなと」を訪れ利用者からの個人的な相談や質問に対応したり、高齢者宅を訪問しパソコンやスマホの使い方を教える等、地域で熱心に活動されている。 パソコンやスマホ等の情報通信機器に助けられた自身の経験から「情報通信機器の利用によって生きやすくなる人がいるかもしれない、情報格差をなくしたい」という思いで、精力的にボランティア活動を継続しており、これらの活動は精神保健福祉の推進に大きく貢献している。
田尻（たじり）　哲朗（てつろう）	高千穂町	特定非営利活動法人彩り 就労継続支援Ａ型・Ｂ型多機能事業所にじいろ施設長	平成２４年１月に「就労継続支援Ｂ型事業所ふれあい作業所あまてらす」に就職。そこでチーズまんじゅうの開発に携わったことをきっかけに、平成２６年８月に退職し、翌月９月に「菓子工房そらいろ」を立ち上げ、まずは就労の場を作った。 平成２８年９月に「特定非営利活動法人彩り」を設立。平成２９年１月に西臼杵初となる「就労継続支援Ａ型・Ｂ型多機能事業所にじいろ」を開設し、施設長として、障がい者の就労継続支援活動に尽力している。 現在は菓子製造以外にも、果実加工、お茶の袋詰め、農作業等、仕事の幅を広げ、障がい者一人一人にあった就労環境を提供している。 また、高千穂町の小・中学校や支援学校等からの職場見学や実習の受入れも積極的に行っており、地域の障がい者や障がい者雇用に関する理解の促進に寄与している。

受賞者の声

一般社団法人宮崎県断酒友の会宮崎支部
白木　強

この度は、宮崎県精神保健福祉協議会会長表彰を頂き、誠にありがとうございました。

宮崎県断酒友の会の活動に参加するようになり、令和７年11月で断酒継続18年目を迎えました。宮崎支部は、県内７支部の１つで、会員13名が他支部と一体で活動をしています。思えば、私は度を超した飲酒が原因で、人に迷惑をかけた苦い経験が多々あり、このような状態をなんとかしなければという気持ちで断酒会に入会しました。

断酒会は、例会（本人、家族がアルコールに関する体験を語り聴く場）への参加が基本となっています。私は、ここで家族の話を聴き、飲酒時の迷惑行為をはっきりと知る事ができました。

断酒友の会では他に、相談事業への対応、各種大会や講演会への参加、公開セミナーの開催、依存症者の専門病院への橋渡しや自立更生への助言等にも努めています。

会には、「出会い・ふれ合い・支え合い」というモットーのもと、自分は一人じゃない、同じ悩みを持つ者がいるという深い仲間意識が生まれています。そして活動に加わる事で、自分の飲酒時の行動を反省、自覚し、断酒の喜びを見いだす事ができるようにもなっています。

私自身、酒を飲まない生活が長く続きますと、人生の振り返りができ、健康で、家族だんらんの喜びに幸せを感ずる心の余裕もできるようになりました。

また、何よりも有難いと思うのは、飲酒運転の心配がなくなり、他人に危害を加える加害者にならないことです。私は現在、高齢により免許は返納していますが。それと、これまで飲酒欲求に耐えられず、酒を得るために費やした無駄なエネルギーも要らなくなった事です。

ところで、私は平成27年４月から令和５年３月まで宮崎支部長を務めました。支部活動の調整・まとめ役をさせてもらい、これは本当にいい経験になりました。また、その間は宮崎地域精神保健福祉協議会委員、東諸県地域自殺対策推進協議会委員を兼ねており、精神保健福祉行政を知るいい機会も与えていただきました。大変勉強になりました。感謝いたします。

これからは、一人の宮崎県断酒友の会会員として、会の発展に何らかのお手伝いができればと思う今日この頃です。

受賞者の声

相談支援事業所りーふ
管理者　山元　克也

この度は、第65回宮崎県精神保健福祉大会におきまして、宮崎県精神保健福祉協議会会長表彰を賜り、心より感謝申し上げます。他の受賞者の方々と違い、特段実績もない私に過分な評価をいただき大変恐縮でございます。

振り返れば昭和63年、藤元病院にケースワーカーとして入職したことが、現在の相談支援業務につながるきっかけになったのではないかと思っております。初めて入った精神科の閉鎖病棟の印象は今でも忘れられません。病棟入り口の鍵を開け中に入った瞬間、もうもうとしたタバコの煙と病棟の中を歩かれている患者さんの姿に、映画で観た「カッコーの巣の上で」が浮かびました。

当時は、精神衛生法から精神保健法に変わる時でもあり、入院中の方々の処遇が変わっていくのを肌で感じたものです。多少なりとも福祉の勉強をしてきたつもりでしたが、実際に病院で勤務していくと新たに覚える事も多く、自身の勉強不足や対応力の無さを痛感する場面が多々あり、周りの方にご迷惑をかけてばかりでした。その様な中、何とか一社会人として業務に従事できたのも、藤元病院の先生方を始めとする諸先輩方の根気強いご指導のおかげと思っております。また、患者様方の優しさに気持ちが救われた事も度々ありました。今でも、病院やサービス提供事業所でお会いすると、昔の様に声をかけて下さる方も多数おられます。エピソードの多かった精神科勤務でしたが、今でも忘れられない方々がいます。右も左もわからない新人の私に声をかけ、自分の生い立ちや入院した経緯など優しく話をしてくださったＭさん、気分が高揚した時に荒い口調で「自分は○○組にいた」など自慢話をされていたＹさん、保護室で「アンビバレンス」等、難しい話を聞かされたＴさん等々…今となっては当時の方々の年齢を上回り、昔の記憶も曖昧になってきていますが、藤元病院での勤務は私にとって忘れられない思い出ばかりです。タラレバになりますが、今の自分が当時の自分と入れ替わったとしたら、患者様方にもう少し良い対応ができたのかなという後悔もあったりします。

その後、管理的立場になっていた私に転機が訪れたのは、平成23年に法人内の地域活動支援センターへ異動が決まった時でした。地域で生活を送る障がい者の方々にどの様な支援をしていけば良いのか、どの様な資源があるのか、また一からの勉強でした。途中、２年弱の勤務異動を挟みましたが、足掛け11年地域活動支援センターで勤務させていただいたことで、地域生活の実情を知ると共に日中のサロン活動を始め相談支援、地域移行・定着支援、ピアサポート活動など多くの学びを得る事ができました。また、保健所・福祉事務所など行政機関を始め医療機関、地域のサービス提供事業所、民生児童委員の方々など多くの方と出会えたのも何よりの財産となっています。残念ながら、令和６年３月を以って勤務先の地域活動支援センターは閉鎖となってしまい、この時は人生で初めてと言っていいぐらい身の振り方を迷いましたが、これまでご縁のあった方々のお声かけもあり、同年８月からは現在の相談支援事業所りーふで勤務することとなり現在に至ります。

相談支援専門員として当事者の方々の力になれているのか、今でも自信はありませんが、話を傾聴し寄り添う姿勢だけは忘れずに業務に臨みたいと思っています。今回の受賞にあたり、これまで支えて下さった皆様方に感謝申し上げますと共に微力ながら、今後も地域のお役に立てるよう努力してまいります。

受賞者の声

一般社団法人宮崎県断酒友の会
えびの支部会員　川野　三枝子

この度は、第65回宮崎県精神保健福祉大会において、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を賜り、大変光栄に感じ、身の引き締まる思いです。保健師さんから受賞のお話をいただいたときは、「賞に値することは何もしていない」と、返答を固辞しておりました。

主人がアルコール依存症と診断されたのは、30年前の平成８年、主人が43歳の時のことでした。何がこんな勝手な病気があるものかと納得できませんでした。当時は、「男は飲んで一人前」「人間は腹一杯食べさせ腹一杯飲ませれば悪いことはしない」と言われ、どんな飲み方をしても注意される事もありませんでした。理不尽さに幾度も家を出たこともありました。30代の頃、飲み方がおかしいので専門医へ行こうとしましたが無知故に敵いませんでした。それまで新聞で保健所のアルコール家族教室のことを目にし、幾度か相談しようとしましたができませんでした。しかし、幻覚や幻聴に怯える主人の姿をみて、初めて保健所に電話をしました。

その後、主人は４ヶ月の入院生活を送り、私たちは断酒会と出会いました。院内の家族会に参加し、他の家族の涙ながらの話を熱心に聞いた義母が、「我が家は特別だと思っていた。皆同じようなことで苦労しているんだ。一緒に頑張る。」とポツリと言った言葉は今でも忘れられません。退院後の主人は県内外問わず断酒会へ通うようになり、無口な主人が人前で素面で体験談を話す姿には本当に驚きました。どの会場に行っても「よく来たね」と笑顔で迎えてくださり、ただ座って耳を傾けました。始めの頃は馬耳東風でしたが、何度も例会や講演を聞くうちに、私自身も、家族が病気に巻き込まれる「共依存」というものに気づかされました。

断酒会、家族会、保健師さん方のおかげで今の私たちがあります。初めて来られる方は不安で一杯だと思います。でも、専門医やえびの市、保健所、断酒会はつながっています。一緒に悩み、共感してくれる仲間がおります。この温かい自助グループがあることを、今後も悩み苦しんでいる人に伝えていきたいと思います。

断酒を支えてくださっている友人達、断酒会、家族会、行政・医療関係の方々に改めてお礼を申し上げます。ありがとうございます。私はこれからも、主人はもちろん、自分のために、断酒会、保健所の家族教室に二人で通わせてもらいます。

受賞者の声

特定非営利活動法人ハッピーデイズ理事
石村　れい子

第６５回「 宮崎県精神保健福祉大会」において、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰をいただき、誠にありがとうございました。心から感謝申し上げます。

約３０年前、娘が統合失調症となり、当時は精神疾患に対する偏見が強く、私や家族も何もわからないまま、不安と心配を抱えた生活が始まりました。

そのような中、新富町ふたば家族会を紹介され、支えていただき大変お世話になりました。

娘は、富養園が閉鎖となりました後、宮崎市内の病院へと移り、長年の経過があって、今は寛解という状態にまでなり、仕事に生きがいを感じるようになっています。

その後、当時の新富町ふたば家族会の会長清様が、大変なご苦労をされてハッピーパーク事業を立ち上げられ、２０年ぐらいになります。今は、特定非営利活動法人ハッピーデイズとして当事者の方々への相談支援、就労支援、共同生活援助事業など幅広く活動されています。当事者のご家族で悩みをかかえていらっしゃる方は、まずは相談からだと思います。

私も地域の協力者として、平成１８年の立ち上げの時から、２０年役員として携わらせていただいています。主に、当事者さんご家族の悩み相談や仕事をお願いしたい事業者さんを繋ぐなど心がけてきました。

県内の家族会が一堂に会する場等で知り合った当事者ご家族の方からも、多くの相談をいただきました。私が家族として、娘のさまざまな経過を支えてきた経験を活かし、できる限りの助言をさせていただいております。今でも時折連絡・相談いただくなど、長きに渡り縁が続いております。

当事者の方々が社会の中で自分の力を発揮し誰かの役に立つことは、大きな生きがいとなり、その報酬を得ることは自信や喜びにもつながります。これからも私なりに微力ではありますが、今まで通り活動していきたいと思います。

受賞者の声

日向市・東臼杵郡障がい児者基幹相談支援センター
センター長　久光　博之

このたび、第６５回宮崎県精神保健福祉大会におきまして、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を賜りました。これまで関係支援者の皆様と共に取り組んできたことが、個人として表彰されることに戸惑いもございましたが、多くの方から温かい祝福の言葉を頂戴し、感謝の念でいっぱいです。

今までの私の活動を振り返ってみますと相談員として精神障害のある方と関わらせていただいたのが平成９年から、ひとりの男性宅の訪問を役場の保健師と同行した時からでした。

今のような地域生活支援や就労系サービスがまだ整っておらず、精神障害のある方の地域での暮らしはとても限られていました。私はただただ訪問をして話を聴かせていただくだけで何も支援をすることが出来なく通い続け、一方で精神科病院のＫケースワーカーに支援のあり方について悩みを聴いていただき助言を求めながらの日々でした。そして、ようやく支援が一歩前に踏み出すことが出来た時に感じたのは、「ひとりで頑張ろうとしない」ということでした。この方にとって本当に必要な仲間を探し、多職種で連携しながら支援の糸口を見いだしていく。そのような考えに至ったのも本人や関係支援者との出会いであり、私の支援の原点であったのだと感じています。

そして現在、当センターでは令和元年から指定一般相談支援事業所として、地域移行支援および地域定着支援に微力ながら関わらせていただいております。当初は、病院から地域生活へ移行するために必要な住まい探しや、地域資源との調整に奔走してまいりましたが、本人さんとの出会いを通して支援のあり方にも変化が起こっています。多職種連携の本当の意味を問うということです。地域移行・定着支援というものが精神科病院からの支援のバトンをつなぐイメージであったところから、病院と地域の関係機関・人が相互に作用して本人を支えていくこと、互いに影響し合いながら、本人の生活に一緒に付き添う関係をつくることだと考えるようになりました。本人が自分の人生を自分で決めていく段階に至るためには、支援者からの一方通行の支援では不十分です。入院当初から入院中、退院、そして地域生活に至るまで、関係する支援者がチームとして関わり続け、本人と支援の方向性を共有していくことが重要です。そのプロセスの中で、本人の悩みを一つでも多く希望に変えていく関わりを地域全体で考えていきたいと思います。

このたびの受賞は、ひとえに多くの皆様のお力添えの賜物と深く感謝申し上げます。あらためて心より御礼申し上げます。誠にありがとうございました。今後も、皆様と力を合わせながら、地域の精神保健福祉の向上に、微力ながら精一杯努めてまいります。

受賞者の声

協和病院自立支援相談支援室
管理者　黒木　康彦

第６５回宮崎県精神保健福祉大会において、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を頂き誠にありがとうございました。心より感謝申し上げます。

私は、平成１９年３５歳の時に精神保健福祉士の資格を取得し、精神科病院に入職しました。それまでは、広告代理店の営業マンでしたので、精神障がいについて何も知りませんでした。

１９年前、初めて精神障がいのある方と対面する時は少し緊張していましたが、会った瞬間「世の中にはこんなにも優しい人がいるんだ」と感動したことを今も覚えています。正直に言うと、「精神障がい者は怖い」という偏見を持っていました。

入職後２年間は、精神科ソーシャルワーカーとして患者様やそのご家族などの相談、社会参加や社会復帰の支援をしていましたが、どの患者様も純粋無垢な方ばかりで支援している私の心まで清らかになっていくような気がしました。この頃 (今もそうかもしれません)、世間的に精神障がい者への偏見が根強く、生きづらさを感じている方々を目の当たりにしました。精神保健福祉士の使命として、精神障がいを正しく理解するための普及啓発活動があることを理解しました。ケースワークを行うにあたっては、エンパワメントと権利擁護の視点が大切であることを学び、それが私のソーシャルワーカーとしてのアティチュードになりました。

その後、精神科ソーシャルワーカーとして重度認知症デイケアや精神科デイケア、自立訓練事業所のサービス管理責任者などの経験をしてきましたが、患者様や利用者様と直に接する楽しさや難しさを知ることになりました。

地域活動支援センターⅠ型には通算７年１ヶ月在籍し、多職種多機関が協働して精神科病院からの地域移行支援を行うこと、「精神障害にも対応した地域包括ケアシステム」へつながるネットワークの構築に少なからず貢献できたと思っています。特に、ピアサポーターとの関わりは今も大事に続けているところです。

現在は、特定相談支援事業所「協和病院自立支援相談支援室」にて計画相談支援を中心に業務を行っています。さまざまな障がいのある方の支援に携わっていますが、それぞれに地域で生活を続けていくことの難しさを感じることがあるようです。未だに、障がい者に対する偏見や差別は存在しています。そんな中で、利用者様が一つでも楽しみを見つけたり、面白さを感じたりしながら生きていけるような支援を目指して、一人ひとりと向き合っています。

今回の賞を頂いたのは、これまで出会った皆様のおかげです。本当にありがとうございました。

受賞者の声

パソコン勉強会講師（ボランティア）
中島　洋史

この度は、第６５回宮崎県精神保健福祉大会に於いて、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を賜り心から感謝申し上げます。

私は、主に延岡市内で、パソコン操作のお手伝いやサポートを必要とされている障がい者の方々や、パソコンのご利用において、お悩みやご不安を抱えていらっしゃるシニアの皆様を対象に、私がこれまで培ってきた経験と知識を少しでも社会に還元できるよう自分にできる限りのボラティア活動に励んでおります。

平成３０年より延岡市地域活動支援センター「みなと」さんで月に一回開かれるプログラム「パソコン勉強会」の講師役を務めさせていただきました。

「みなと」さんでは、利用者さんのパソコンにチャレンジしたい、もっと便利な使い方を知りたいといった目標に対して、施設長さん並びに職員さんの協力のもと学びを共有してまいりました。

「パソコン勉強会」という行事の名前は、施設長さんの発案から来ております。

パソコン教室ではなく、勉強会として参加者の皆が協力し助け合いながら知識を深めようといった思いが込められております。実際にそれがかたちとなり、多くの方々の喜びへと繋がっていきました。

この会は、一時的な学びにとどまらず「成果」を目にでき、且つそれを「かたちとして持ち帰ることができる」という取り組みへのこだわりがありました。パソコンの操作知識を覚えるだけでなく、自分の好きな物事をまわりの人々へアピールする文章作成や、季節のメッセージカード・お祝いや感謝のお手紙づくり。そして「みなと」さんでプリントアウトしていただく「手に取って見ることができるもの」という成果物づくりです。

参加者の皆が自分の個性をパソコンというツールを用い表現し、誰かに伝えられる。そのような会のサポートを通じたくさんの感動を体験できたことを嬉しく感じております。

今後も今回いただきました受賞を励みに、誰もがパソコンとふれあい、心のふれあいを届けあえる社会づくりのために尽力し、活動を続けたいと思います。

受賞者の声

特定非営利活動法人 彩り　就労継続支援 A 型・B 型多機能事業所にじいろ

施設長　田尻 哲朗

まずはこの度、宮崎県精神保健福祉連絡協議会会長表彰を受賞させていただけたのは、日頃から利用者の皆様の支援に真摯に取り組んでくださっている職員の皆様、日々懸命に仕事に向き合い成長を続けている利用者の皆様、そして私たちに仕事を依頼してくださる地域企業の皆様をはじめ、関係機関や地域の皆様など、これまで彩りに関わってくださったすべての方々のお力添えがあってこそです。代表として表彰をいただきましたが、この賞は彩りに関わる皆様と共にいただいたものだと感じております。深く感謝申し上げます。

私は、父が障害を抱えた経験をきっかけに、障害福祉の分野に関心を持つようになりました。障害によって働きたくても働くことができない時期を過ごした父の姿を間近で見ながら、障害の有無に関わらず、一人ひとりが自分らしく力を発揮できる環境の大切さを実感しました。

障害特性への理解を深め、それぞれの能力や可能性を活かしながら働くことのできる場所をつくりたいという思いから、平成29年に NPO 法人彩りを設立し、就労継続支援 A 型・B 型事業所の運営を開始いたしました。

事業を続ける中では、多くの喜びや達成感がある一方で、課題や困難に直面することも少なくありませんでした。利用者の皆様にとってより良い支援とは何か、地域に求められる事業所とはどのような存在なのかを考えながら、職員と共に試行錯誤を重ねてまいりました。

現在もなお模索の日々ではありますが、「彩り豊かな人生を」を理念に、就労を通じて心豊かな生活が送れるように、職員、利用者一丸となって、地域社会に必要とされる就労の場づくりに取り組んでまいります。

最後になりますが、この度の受賞を励みに、今後も感謝の気持ちを忘れることなく、地域福祉の発展に微力ながら尽力してまいります。誠にありがとうございました。

第25回宮崎県障がい者スポーツ大会報告

第２５回宮崎県障がい者スポーツ大会が令和８年５月１０日（日）に、ひなた宮崎県総合運動公園をはじめ県内１０ケ所で開催されました。

本大会は、障がいのある選手が、障がい者スポーツの祭典であるこの大会に参加し、競技等を通じ、スポーツの楽しさを体験するとともに、県民の障がいに対する理解を深め、障がい者の社会参加の推進に寄与することを目的としています。

当日は、選手の皆さんが日頃の練習の成果を発揮されており、選手同士の交流や応援を通して、スポーツの楽しさや仲間とのつながりを感じられる大会となりました。

また、多くのボランティアや役員の皆様の御協力により、無事に大会をおけることができました。

大会に参加していただいた選手や役員、ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

１　参加者数

１０競技に７９６名　うち精神障がいの部の参加者　１０３名

２　精神障がいの部の参加者数

- バレーボール　２チーム　（１３名）
- ミニバレーボール　１チーム　（　６名）
- グラウンド･ゴルフ　１３チーム（７３名）
- 卓球　１１名

〔結果〕

バレーボール	優勝	江南よしみフェニックスＡ	（宮崎市）
ミニバレーボール	優勝	笑顔	（新富町）
グラウンド･ゴルフ	優勝	Ａコース　なごみんぐＡ	（椎葉村）
		Ｂコース　パパス＆ママス	（宮崎市）
卓球	優勝	男子の部　宮崎　桂輔	（都城市）
		女子の部　曽我　由貴	（都城市）

宮崎県障がい者スポーツ大会
グラウンドゴルフで初優勝！！

椎葉村役場　福祉保健課　なごみの会「なごみんぐ」

5月に行われた障がい者スポーツ大会のグラウンドゴルフで、見事優勝しました。ぼくは1回目はだめでしたけれど、2回目は良かったです。常に良かったです。昨年、グラウンドの草が長くなり、大変でした。なかなかですが、2回目は良かったです。また練習して出場したいと思います。優勝して良かったです。（Y. R）

今年こそは優勝をして、盾（たて）を椎葉に持って帰る思いでのぞみました。初めての優勝だったので、とてもうれしかったです。5人組で戦う競技なので、ほかの人にめいわくをかけないように点数をたくさんとって、優位に試合を進めたかったです。思いどおりに進められたのでよかったです。選手のみなさん、お疲れさまでした。（N. T）

私は初めての出場で最初は緊張したけど、あとの方はグラウンドゴルフというものが少しずつわかりだして、少しずつおもしろくなりました。練習も一生懸命になり、みんな上手になり、自分も楽しくプレー出来る様になりました。宮崎に行って試合をするのがたのしくなり、グラウンドゴルフが大好きになり、また2回目も出場する時は、みんなとたのしくしたいと思いました。（N. N）

最初グラウンドゴルフを始めたいきさつは、担当の役場職員さんの声掛けで、県の大会もあるので練習をまじえて「なごみんぐ」というチーム名で出場しませんか？との事でした。グラウンドゴルフをきっかけに話し相手が出来、楽しみでした。今まで練習してきましたが、皆さんの一打一打を見ていると、一生懸命な姿や時折見せる笑顔等、色々な表情が印象的でした。成績で言えば、今まで最高2位でとどまっていました。今年の大会は全体のチーム数が減っていたのが、ちょっぴり残念で悲しい事でしたが、念願の優勝が出来うれしく思います。来年の大会も皆さん元気に大会に出れる事と、大会関係者の皆さんへの感謝を忘れず出場できる様にしたいと思います。皆さんお疲れ様でした。ありがとうございました。（S. K）

人工芝のおかげで球がすべらず、なかなか入らず。2回は強く打って、どうにか入るようになりました。（N. O）

前日からみんなで宮崎に泊まりました。前日の懇親会も楽しかったなぁ～。

また来年も優勝できるように、練習をがんばります！

宮崎東諸県地域精神保健福祉協議会

当協議会は、宮崎市及び東諸県郡における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

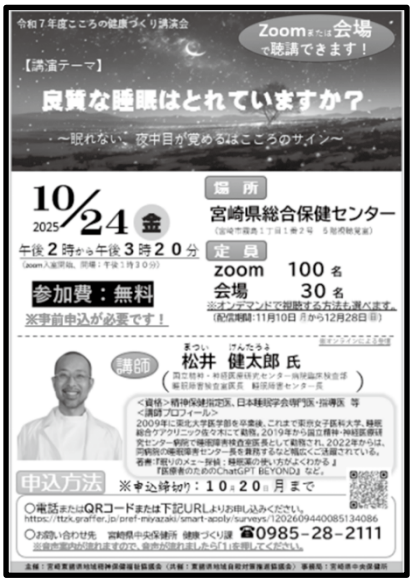
【こころの健康づくり講演会】

「良質な睡眠はとれていますか　～眠れない、夜中目が覚めるはこころのサイン～」

講　師：国立精神・神経医療研究センター病院　臨床検査部　睡眠障害検査室医長
　　睡眠障害センター長　　松井　健太郎　氏

期　日：令和７年１０月２４日（金）午後２時から午後３時２０分（会場及びZOOM）
　【オンデマンド配信】１１月１０日から１２月２８日まで

参加者：５０名

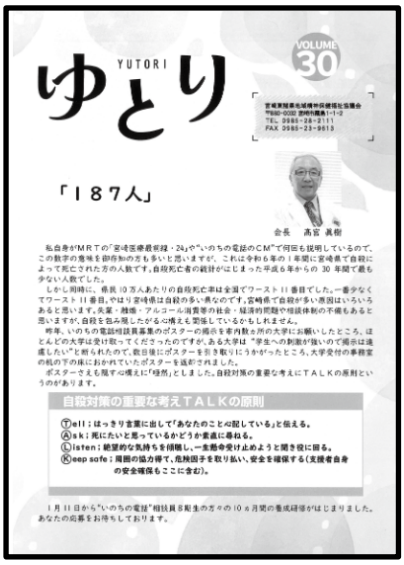


睡眠は、ライフコースを通じて、こども、成人、高齢者のいずれの年代においても健康増進・維持に不可欠な休養活動です。日本人の約５人に１人は睡眠に関する悩みを抱えていると言われており、様々な要因から身体的・精神的な健康に悪影響を及ぼす睡眠障害に悩む人が増えています。

講演では、睡眠不足からくる身体や心への影響や睡眠の質が向上できる具体的な方法など多くのことを学ぶことができました。

また、参加者アンケートでは、８割以上の参加者が講演内容を「理解できた」、「今後の活動に活かせる」と回答し、「睡眠の大切さを再認識できた。」「後日でも受講できてよかった。」といった感想も多数寄せられました。

【協議会だより「ゆとり」発行】



精神保健福祉に関する情報提供と協議会の活動報告を中心に編集した宮崎東諸県地域精神保健福祉協議会だより『ゆとり第３０号』を発行しました。

今回は、第65回宮崎県精神保健福祉大会の様子や会長表彰者のインタビュー記事、宮崎県障がい者スポーツ大会の様子、ピア・ささき病院での活動紹介等を掲載しております。

また、広報誌を手にとってくださった方に協議会での活動を知ってほしいという思いから、令和７年度の事業報告と会員募集のコーナーも設けました。

今後も様々な活動を通じ、地域精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ってまいります。御協力をお願いいたします。

日南串間地域精神保健福祉協議会

当協議会は、日南市、串間市における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。主に、交流会等のイベントや家族会等への活動助成、協議会だよりの発行等を行っています。

【精神障がい者・家族・支援者交流会】

精神障がい者やその家族、支援者、地域住民等がレクリエーション等を通して交流を深めるとともに、精神障がい者に対する理解を促進することを目的に、交流会を開催しました。交流戦での種目では初めてボッチャを実施しました。ボッチャは、ボールを投げたり転がしたり、他のボールに当てたりして、目標球に近づけるかを競います。年齢、性別、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に競い合えるスポーツです。

期　日：令和７年１２月４日（木）
場　所：日南市総合運動公園　多目的体育館
内　容：ボッチャ、レクリエーションゲーム
参加者：９７名

レクリエーションゲームでは初めて
『スロービー』を取り入れました。
楽しいと好評でした！

【協議会だより「潮騒（しおさい）」の発行】

令和８年２月に協議会だより「潮騒」を発行しました。

精神障がい者・家族・支援者交流会の様子、ピアサポートグループ「県南・スパローズ」の取組紹介、管内事業所の紹介等を行っています。

第34号　日南串間地域精神保健福祉協議会だより　令和8年2月発行

潮（しお）騒（さい）

『はじめまして』

日南串間地域精神保健福祉協議会会長
藤元　ますみ（医療法人十善会　県南病院副院長）

はじめまして。県南病院の藤元ますみと申します。このたびご縁をいただき、地域のこころの健康づくりに関わる役職を拝命いたしました。日頃より、関係機関の皆さまが連携しながら支え合いの輪を育んでこられたことに、心より敬意を表します。医療の現場にいる者として、病院の中だけでは届きにくい声にも丁寧に耳を傾け、「相談してよかった」「つながっていてよかった」と思える地域づくりに微力ながら努めてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

近年は感染症や社会情勢の変化が続き、ニュースや SNS からさまざまな情報が流れ込むなかで、不安や疲れを抱えやすい日々が続いています。いわゆる「情報疲れ」を感じたときは、まずは一度、情報から距離を置く時間をつくってみてください。決まった時間に起きて、決まった時間に食事をとる――そんな当たり前のリズムを取り戻すことが、心身の回復の土台になります。窓を開けて外の空気を吸い、空や風、日差しの変化に目を向けるだけでも、気持ちがふっと緩むことがあります。忙しい毎日の中でも、「今日はここまでで十分」と区切ること、眠る前は画面から離れて深呼吸することなど、小さな工夫が積み重なって翌日の力になります。

また、交流の機会や、無理のない運動を生活に取り入れることは、体力への自信や健康行動の継続につながり、生活の満足感を高める助けになるとされています。ひとりで行う運動もよいですが、仲間と一緒に取り組むことで楽しさが増し、続けやすくなる面もあります。直接会いにくい状況があっても、電話や SNS、オンライン通話などを「つながるための道具」として上手に活用し、短い会話でもよいので誰かと話す機会を意識して持っていただければと思います。楽しかったこと、ほっとしたことを分かち合える時間を、少しずつ増やしていきましょう。交流の場は、仲間づくりのきっかけであると同時に、「自分はここにいてよい」と感じられる居場所にもなります。

一方で、気持ちが沈み込み、「消えてしまいたい」「死にたい」といった言葉が出るほどつらいとき、また身近な方にそのようなサインが見られるときは、ひとりで抱え込まないことが何より重要です。声をかける際は、TALK の姿勢―― Tell（心配していることを言葉にする）、Ask（気持ちの有無をたずねる）、Listen（否定せずに聴く）、Keep safe（安全を確保し専門機関につなぐ）――を意識すると、支える側も支えられる側も次の一歩を踏み出しやすくなります。相手の言葉を繰り返したり要約して確かめたりしながら、慌てずに聴いてください。そして必要に応じて、かかりつけ医や専門医療機関、行政、各種相談窓口へと結び、つながりを途切れさせないことが大切です。国や自治体の相談窓口、電話・SNS 相談など、選べる入口はいくつもあります。「相談していいのかな」と迷う段階でこそ早めに頼ってください。

新しい一年は、これから芽吹いていく季節のように、少しずつ良い方向へ向かう力を育てる時期でもあります。皆さまのご協力に感謝しつつ、現場と地域をつなぐ架け橋となれるよう努めます。皆さま一人ひとりの暮らしの中に、小さな安心と回復のきっかけが増えていくよう、関係者の皆さまと力を合わせて取り組んでまいります。穏やかで実りある一年となりますことを心より祈念し、就任と年始のご挨拶といたします。

第34号　日南串間地域精神保健福祉協議会だより

ピア活動紹介
『県南・スパローズ』の取組を紹介します

『県南・スパローズ』とは？
日南市・串間市に暮らすピアサポーターが、自ら運営・活動しながら、仲間の経験や自分の気持ちを、みんなで分かち合うことで、障がいのある人もない人も、本当に居心地のいいまちづくりに繋がればと願う、ピアサポートグループです。平成２９年２月２５日に発足しました。（現在５名）

「院内ピア」活動
日時：令和7年11月11日（火）14～15時
場所：医療法人十善会　県南病院

県南・スパローズの体験発表を聞いた後、「健康の秘訣」や「楽しかったこと」等、話したいテーマを皆で決め、自由に話しました。ピア体験者からは、「楽しい」「病院の外で会いたい人が思いついた」との感想が得られ、好評でした。

「ピア」とは、同じような立場や境遇、経験等を共にする人たちを表す言葉であり、その方達（ピア）同士の支え合いを「ピアサポート」と表します。ピア活動は、①出入りは自由②（発言したくない時等）パスはいつでもできるという約束のもと行われます♪

事業所紹介
日南串間地域の事業所を紹介します♪

特定非営利活動法人
「多機能型事業所 SECOND（セコンド）」
「ONCE IN A LIFE TIME ～人生は一度～」をモットーに、１人１人の意欲を尊重し、特殊印刷や刺繍、剪定・草刈り等幅広い就労が経験できます。

This is a ONCE IN A LIFE TIME experience. SECOND

敷地内にある無人雑貨屋で、作った作品を販売することができ、希望者は接客をすることもできます♬

所在地：日南市星倉一丁目6番5
連絡先：0987-55-6650

※多機能型事業所とは、２つ以上の異なる福祉サービスを同一施設で一体的に提供している事業所のことで、「セコンド」は自立訓練（生活訓練）及び就労継続支援B型の機能を合わせもっています。

「福祉作業所　けあぷらす」

午前中は主にお弁当の詰め作業を、午後は季節ごとの行事やレクリエーション・デザート作り等、皆の意見をもとに何をするか決めています。老若男女問わず、いろいろな方が楽しみながら通所しています★

この可愛い箸入れも、折り紙等から手作りしています♬

季節によって、海鮮物が届いた際は、仕分け作業を行うこともあります★

所在地：串間市大字西方14895番地
連絡先：0987-55-0417

都城北諸地域精神保健福祉協議会

当協議会は都城市、三股町における精神保健福祉の推進を図ることを目的に活動しています。主な活動としては、家族会等への活動助成や精神障がい者支援ネットワークを結成し、講演会や家族交流会、普及啓発イベントの企画、協議会だよりの発行を行っています。

【家族交流会】

令和７年度は、統合失調症の方のご家族を対象とした家族交流会を開催しました。

日　時：令和７年 10 月 27 日（月）午後２時～午後３時 30 分

場　所：都城保健所　多目的室

参加者：９名（家族・当事者）

交流会では、統合失調症当事者の方２名に来所いただき、幻覚妄想などの症状のこと、自分なりの障がいとの向き合い方など、当事者の立場でしか分からない思いや経験をお話しいただきました。また、座談会では、精神障がい者を支える中での悩みや日々の関わりで気をつけていることなど、参加者同士で自由に意見交換を行い、交流を深めました。

【こころの健康づくり講演会】

令和７年度は、「アルコール・ギャンブル依存症」をテーマに講演会を開催しました。

日　時：令和７年 12 月 20 日（土）午後１時 30 分～午後３時 30 分

場　所：祝吉地区公民館

参加者：51 名（地域住民、医療福祉機関、行政機関など）

内　容：演題：「アルコール・ギャンブル依存の理解と対応～依存症を正しく知って、支えるために～」

講師：医療法人　横田会　向陽台病院　院長　比江島　誠人　氏

講演では、依存症からの回復には、医療だけでなく自助グループとの繋がりが不可欠であることや、支援者は回復者の話を多く聞いて回復の具体的なイメージを作ることの重要性など、支援のポイントについて分かりやすくお話しいただきました。

参加者からは、「身近な方との関わり方や、その方の抱えていることを見直す機会になりました」などの感想をいただき、学び深い１日となりました。

【協議会だより「オアシス」の発行】

令和８年３月に協議会だより「オアシス」を発行しました。令和７年度の協議会の活動報告、宮崎県精神保健福祉大会の様子、「突撃！地元の事業所さん」と題して、都城市地域活動支援センターぽかぽかの紹介等を掲載しています。

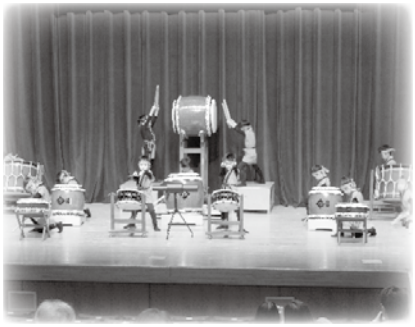
西諸地域精神保健福祉協議会

当協議会は、小林市、えびの市、高原町における精神障がい者の福祉の増進と地域における精神保健の向上を図ることを目的に活動しています。

【第２１回西諸地域精神障がい者文化交流会「こすもす祭」】

期　日：令和７年１１月１５日（土）
場　所：小林市文化会館
参加者：３５２名（当事者、一般住民、保健医療福祉の関係職員、ボランティア等）
内　容：当事者による体験発表、精神障がい当事者会「おひさまピアの会」の活動報告
健康運動指導士による講演（笑いヨガ）、当事者による作品展示、
家族会・就労継続支援事業所等による物品販売・バザー、レクリエーション等

参加者からは「当事者の発表や活動報告より、どのような思いや経験をされているのか理解することができた。多くの方に届くと良いと思った。」「どの作品も素晴らしかった。」「様々な人が一緒になっている様子に感動した。」等の感想が寄せられ、文化活動等を通じて障がいの有無に関わらず、多くの人がつながる有意義な会となりました。



【社会資源見学会】

期　日：令和８年２月２４日（火）
対象者：精神科病院職員、
指定一般相談支援事業所職員、行政職員等
視察先：小林市内の就労継続支援事業所、
グループホーム、地域活動支援センター

参加者からは「退院支援の助言等、実際に見たこと、感じたことを説明に加えていける良い機会となった」「具体的に知ることができたので、利用者へ紹介するときの材料にできると思う」等の感想をいただきました。

【こころの健康出前講座】

精神障がい者に対する理解促進及び普及啓発を目的に、令和６年度より出前講座を行っております。
令和７年度は、２団体に対して実施しました。
学びや気づきの多い研修会となっています。

【協議会だより“ときめき第２７号”の発行】

令和８年３月に協議会だより“ときめき第２７号”を作成し、会員や関係機関等へ配付しました。協議会の活動報告、精神保健福祉事業功労者表彰者等を掲載しました。

西都児湯地域精神保健福祉協議会

当協議会では、西都市、高鍋町、新富町、西米良村、木城町、川南町、都農町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に様々な事業を行っています。

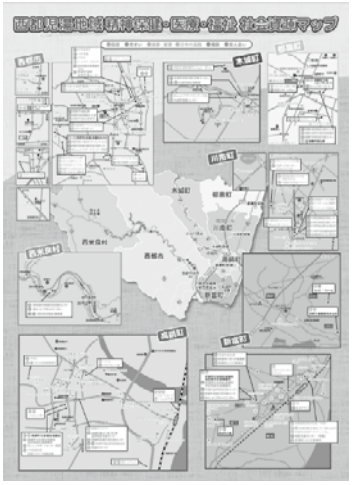
【精神障がい者の家族のための研修会】

日程：令和７年８月２１日　場所：高鍋保健所　参加者：２６名
内容：（１）講演「障がいのある方と成年後見制度」
　　講師　社会福祉法人高鍋町社会福祉協議会
　　こゆ成年後見支援センター　合田　明美　氏
　　（２）精神障がい者ご家族による体験発表

近年、家族の高齢化が進む中で、精神障がい者本人の将来にわたる支援のあり方が大きな課題となっています。そこで、本人の権利擁護と生活の安定を図る上で、有効な手段の１つである成年後見制度について理解を深めることを目的に、研修会を開催しました。参加者から、「成年後見制度についての詳しい仕組み、流れが理解できた」「利用者に判断能力の低下がみられた際、１つの材料として活用できる」「どういったケースの時に後見の検討をする必要があるのか、そうすべきなのかという部分が事例も通してわかった」等、今後の活動に活かせるとの多くの声が聞かれ、大変好評でした。

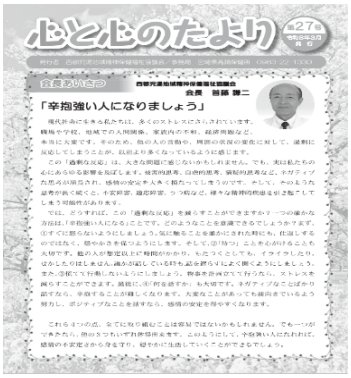
【社会資源リーフレット・マップ】

西都児湯管内の精神保健・医療・福祉に関する情報が記載されたものを２年に１度見直し、発行しています。令和７年度も地域生活支援部会委員の皆様の意見をもとに、リーフレットの発行部数を２倍に増やし、すべての掲載機関に配布できるようにしたほか、配布先に支援学校も追加する等、地域で広く活用いただけるよう、工夫と改善を重ねています。



【協議会だより「心と心のたより」の発行】

令和８年３月に協議会だより「心と心のたより第２７号」を発行しました。精神保健福祉事業功労者表彰や西都児湯地域精神保健福祉協議会の活動を掲載しています。



日向入郷地域精神保健福祉協議会

当協議会は、日向市、門川町、諸塚村、椎葉村、美郷町内の２４の関係団体及び賛助会員により構成され、精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的に活動しています。

第６５回　宮崎県精神保健福祉大会
「ささえあい～日向（ひなた）から笑顔を発信しよう～」

令和７年１１月８日（土)、日向市文化交流センターにおいて「第６５回宮崎県精神保健福祉大会」が開催されました。当日は、４７５名もの皆様に御来場いただき、盛会となりました。大会パンフレットは、当協議会で作成したオリジナルエコバックに入れて、来場者にお渡ししました。

～体験発表～

ピアサポートグループ「リフレッシュへべす会」に所属する２名のピアサポーターが登壇し、御自身の体験や今後の夢について語っていただきました。「自分らしく生きる」という力強いメッセージが、参加者の心に響き、「すごく感動して、自分も頑張ろうと思えた」等の感想が寄せられました。

～販売・展示～

日向入郷地域精神科医療機関と県による展示、就労継続支援事業所による販売が行われました。来場者は、作り手の想いが込められた作品や商品に触れ、温かい交流の場となりました。

さわやか美術展

日向入郷地域の精神科医療機関、デイケア及び地域活動支援センターⅢ型の７６名の利用者の方から、塗り絵、編み物、書道等合計２２点の作品を提供いただき、イオン日向店のいこいの広場にて展示しました。

展示期間中には、４１１名の方に来場いただき、精神障がいを抱えながら地域で生活されている方々の創作活動を通して、当事者の豊かな感性や活動の様子を広く知っていただく貴重な機会となりました。作品を提供された方からも喜びの声が届いています。

延岡地域精神保健福祉協議会

当協議会は、延岡市における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的にさまざまな事業を行っています。

【延岡ハートフルスポーツ大会】

日　時：令和７年１１月１１日（火）
場　所：アスリートタウン延岡アリーナ

今回大会は、ユニバーサルスポーツの１つである卓球バレーを競技種目とし、当事者、ボランティア、スタッフあわせて計６６名の皆様に御参加いただきました。

会場では熱戦が繰り広げられ、参加者からは「どんどん熱中して楽しかった」「またやりたい」等の声がよせられ、スポーツを通じて交流の輪を広げ、親睦を深める機会となりました。

【こころの健康づくり講演会】

日　時：令和７年１１月５日（水）
テーマ：ひきこもりを多角的に理解する
～見過ごされがちな心の声に耳を傾ける～
講　師：宮崎大学医学部臨床神経科学分野精神医学講座
助教　久保　浩明　氏

久保先生より、ひきこもり支援では、本人の今が否定されないことが大切であり、現状維持も重要な支援目標であること、支援者自身が余裕を持つことが重要であること等、支援に必要な姿勢や態度についてお話いただきました。

参加者からは、「焦りを持たなくて良いんだ･･･とホッとできました」「共感していくことを実践していこうと思います」等の感想をいただき、学びや気付きの多い研修となりました。

【協議会だより「こころの広場」の発行】

こころの健康づくりと精神障がい者支援、精神保健福祉情報の提供を目的としてこころの広場第41号を発行し、会員、関係機関、当事者及び家族、ボランティア等へ配布しました。

【第６５回宮崎県精神保健福祉大会での作品展示・物品販売】

令和７年１１月８日（土）に日向市で開催された宮崎県精神保健福祉大会にて、県北地域の精神科病院や障がい者福祉サービス事業所等による作品展示・物品販売が行われました。延岡地域からは、吉田病院デイケア フレッシュハートが利用者の作品展示を行ったほか、大瀬作業所、ことの葉、のぞみ園が作成した物品販売も実施し、会場を華やかに彩っていただきました。

西臼杵地域精神保健福祉協議会

当協議会は、高千穂町、日之影町、五ヶ瀬町における精神保健及び精神障がい者福祉の推進を図ることを目的として、団体会員、個人会員で運営し、啓発活動を中心に事業を進めています。

【アルコール関連問題啓発週間街頭キャンペーン】

日　時：令和７年11月11日（火）　15:30～16:30
場　所：スーパーマーケットアズーロ高千穂店 及び ホームワイド高千穂

11月10日～16日のアルコール関連問題啓発週間にあわせて、高千穂警察署と合同で、街頭キャンペーンを実施しました。
アルコール関連問題が自殺の危険因子のひとつであること等、地域住民の皆様が正しい知識や相談先を知り、アルコール関連問題について考え・気づく機会となることを目的としています。
今年度は啓発場所を増やし、１時間で約140部の啓発グッズを配布しました。

【西臼杵郡障がい者スポーツ大会】

令和７年11月19日（水）、高千穂町武道館で令和７年度西臼杵郡障がい者スポーツ大会が開催されました。
全体で約80人（うち、精神障がい者は約20人）が参加した今大会は、赤・白・青の３つの団に分かれ、アキュラシー、玉入れ、カローリング、徒競走、じゃんけんピックなどの８種目で熱戦が繰り広げられました。
西臼杵地域精神保健福祉協議会からは、参加者全員に参加賞をお渡ししました。

【協議会広報誌「精神保健福祉 たかちほ」】

こころの健康づくりや精神障がい者支援、精神保健福祉情報の提供・啓発等を目的として、年に1回、協議会広報誌を発行し、管内全世帯及び会員、関係機関等に配布しています。
令和８年３月に発行した第32号では、協議会の活動内容や精神保健福祉事業功労者表彰等のほか、就労継続支援事業所の紹介記事を掲載しました。

宮崎県精神福祉連合会　令和７年度活動報告

当連合会は、宮崎県下の精神障がいと向き合う家族と、その家族会を支援することを目的として活動しています。

１　綾町でジャガイモの収穫体験をしました。

6 月 25 日(水)に、綾町にある農園にて、ジャガイモの収穫とレクリエーションを開催し、宮崎県下の家族会の方々と交流を楽しみました。

２　障害年金についての勉強会を行いました。

10 月 26 日(日)に宮崎市総合福祉保健センターにて、「障害年金について社会保険労務士に聞いてみよう！！ 」をテーマに家族会の皆さん向けに勉強会を行いました。
障害年金についての疑問や不安に思っている事を、専門家である社会保険労務士の方を講師としてお迎えして質疑応答や個人面談にて知識を深めました。

３　2027 日本のひなた～国スポ障スポ種目体験による交流会を行いました。

11 月 26 日(水)に、新富町体育館にて「2027 日本のひなた・国スポ障スポ種目 体験交流会」というテーマで、2027 年開催の国スポ障スポの種目内容のいくつかを知ってもらうイベントを行いました。
フライングディスクやボッチャなど体験したことがない種目に、皆、目を輝かせながら挑戦していました。

４　佐賀市にて開催された「九州・沖縄ブロック大会」に参加しました。

12 月 11 日(木)、12 日(金)に、佐賀市にて開催された全国精神保健福祉連合会(みんなねっと）主催の「令和 7 年度みんなねっと九州・沖縄ブロック家族会 佐賀大会」に参加しました。
「わたしと家族が元気になる」を大会テーマに、講演や活動報告が行われました。
宮崎県だけでなく九州みんなで取り組むべきことも確認することができ、有意義な大会となりました。

５　今年度最後の家族会の交流会「みんなでご飯を作って食べておしゃべりしよう！！」を開催しました。

3 月 15 日(日)に、宮崎市総合福祉保健センターにて、宮崎県下の家族会のみなさんといっしょに「みんなでご飯を作って食べておしゃべりしよう！ ！」というテーマで交流会を行いました。
みんなで、豚汁やおにぎりを作ったり、くじ引きのゲームをしたりして楽しい時間を過ごすことができました。

聞くは最高の治療：話すは最高の治療＝自助グループ

一般社団法人宮崎県断酒友の会
理事長 海江田徳行

自助グループは、同じ苦しみを抱える人たちが、自発的に集まり苦しみを分かち合い理解し、苦しみを乗り越えるために支え合うグループです。

同じ苦しみをもった人たちが、対等な立場で話ができるため参加者は誰にも言えない苦しみなどを話す事で孤独感から解放され気持ちを整理し、回復している当事者・家族の人の体験談を聞くことで自分の回復にも希望を持つことが出来ると思い活動しております。

私たち、宮崎県断酒友の会では、県内各支部の定例会以外にも断酒会の良さをもっと多くの人に知って頂きたくセミナー等を開催しています。

１　SBIRTS 普及推進セミナー

令和 7 年 7 月 20 日（日）宮崎県総合保健センター（5 階大研修室）にて 46 名の参加での開催。

SBIRTS 普及推進セミナーとは、アルコール依存症の疑いのある方を早めに専門病院へ繋ぎ、治療が終わったら自助グループへ繋ぐことを目的として開催。

２　アルコール健康障害対策一般公開セミナー

令和 7 年 11 月 16 日（日）宮崎県総合保健センター（5 階大研修室）にて、アルコール健康障害対策一般公開セミナーを、主催（公社）全日本断酒連盟、宮崎県精神保健福祉センターの共催を頂き開催。

本人：西諸支部 平岡勇蔵氏 家族：延岡支部 高橋まゆみ氏の体験談に続き、宮崎県アルコール依存症対策推進計画について、宮崎県障がい福祉課 主任技師古川様より説明頂き宮崎県の依存症対策の進み具合が分かりました。基調講演に鵬翔高等学校 看護専攻科(非常勤講師)鍋島まゆみ先生より、『依存症の方に想い寄り添う』での講演を頂きました。私たち会員も酒害相談を受けることが多々あるそういう場での言葉のかけ方、寄り添う事の大事さ等を学びました。

参加者、行政・医療 10 名、断酒会 28 名、一般 8 名の総参加者 46 名の参加でした。

また、断酒会ではアルコール関連問題啓発週間には、『全国一斉街頭キャンペーン・ストップ・ザ飲酒運転』飲酒運転根絶のチラシの配布をえびの市産業文化祭にてえびの警察署の協力を頂き 650 枚のチラシの配布を行いました。

SBIRTS 普及推進セミナー

アルコール健康障害対策一般公開セミナー

地域で活動する自助活動グループ等の紹介

精神障がい者地域家族会
日南あさがお会

日南あさがお会は平成４年に設立し、当事者および家族を見守る
「あさがお」のような存在を目指して活動・交流しています。

✿活動内容

・ボーリング、夏の栄養会
・日南市内外の研修や散策
・県南地区の交流会（レクリエーション）の参加
・宮崎県精神保健福祉大会の参加　　など

☆体の調子や食事のこと、心配な事などを話します。

✿場所

・活動内容に応じて決めています。
☆今まで比木神社、たちばな天文台　などに行きました。

今年は地元の「坂元棚田」と
「小布瀬の滝」に行きました！

✿日時

不定期　　（皆さんの予定に合わせて決めています。）

✿年会費

当事者　500 円　　家族　1,000 円

❀少数でも集まりを通じて、つながっていきたいと思います❀

問い合わせ先

日南市障がい者憩いの間　　0987－22－2747
日南あさがお会代表（平下）　　090－5381－8422

宮崎県精神保健福祉連絡協議会だより

令和７年度事業実績

１．会議開催

(1)　第１回総会 (令和７年６月２日)

① 役員の選任について

② 令和６年度事業実績について

③ 令和６年度収支決算について

(2) 第１回理事会 (令和７年８月４日)

① 精神保健福祉功労者の会長表彰の選考について

② 精神保健福祉みやざき (第65号) の発行について

(3) 第２回総会 (令和８年３月９日)

① 会則別表第１の改正について

② 令和８年度事業計画（案）について

③ 令和８年度当初予算（案）について

④ 第66回宮崎県精神保健福祉大会開催概要及び特別講演等について

⑤ 令和８年度の全体テーマ及び大会テーマについて

⑥ 報告事項

・第65回宮崎県精神保健福祉大会について

２．大会開催

⑴　第65回宮崎県精神保健福祉大会

令和７年11月８日 (土)　日向市文化交流センター

参加者　475名

３．精神保健福祉功労者表彰

⑴　県大会時表彰状及び記念品授与　　個人８名

４．支援・助成

⑴　精神保健福祉関係団体助成事業　　（助成額　35万円）

①　宮崎県精神福祉連合会　　（助成額　30万円）

②　宮崎県断酒友の会　　（助成額　５万円）

５．普及・啓発

⑴　機関誌「精神保健福祉みやざき (第65号)」の発行・配布 (600部)

⑵　啓発誌「心の健康 (№80)」の作成・配布 (6.000部)

⑶　専用ホームページの運用

⑷　検索システム「こころ安心・相談ネット（愛称：みやざきこころ青Ｔねっと)」の運用

６．その他

⑴　九州精神保健福祉協議会理事会（那覇市）令和７年11月21日（金）

⑵　全国精神保健福祉連絡協議会総会（ＷＥＢ開催）令和７年７月18日（金）

令和８年度事業計画

１．大会開催

⑴　第25回宮崎県障がい者スポーツ大会

令和８年５月10日（日）　会場：ひなた宮崎県総合運動公園、ひなた武道館他

⑵　第66回宮崎県精神保健福祉大会　令和８年11月７日（土）

２．精神保健福祉功労者表彰

⑴　第66回宮崎県精神保健福祉大会時に表彰状授与

３．普及・啓発事業

⑴　機関誌「精神保健福祉みやざき（第66号)」の発行・配布（700部）

⑵　啓発誌「心の健康（№81)」の作成・配布（6,000部）

⑶　広報媒体「専用ホームページ」等の運用

ホームページアドレス（http://www.miya-seiren.com）

⑷　「こころ安心・相談ネット（愛称：みやざきこころ青Ｔねっと）の運用

ホームページアドレス（http://www.m-aot.net）

⑸　「自殺対策強化月間（３月)」関連普及啓発

パネル展示、チラシなどの配布

4．各種団体に対する助成

⑴　宮崎県精神福祉連合会が実施する啓発活動等への助成

⑵　宮崎県断酒友の会が実施する啓発活動等への助成

5．総会・理事会の開催

⑴　第１回総会（令和８年６月１日（月）　開催）

令和７年度事業実績・決算承認など

⑵　第１回理事会（令和８年８月３日（月）開催）

会長表彰者決定、機関誌発行など

⑶　第２回総会（令和９年３月８日（月）　開催予定）

令和９年度事業計画・当初予算、精神保健福祉大会など

6．その他

⑴　九州精神保健福祉協議会理事会（佐賀県）

⑵　第73回精神保健福祉全国大会（富山県）

宮崎県精神保健福祉連絡協議会　役員名簿

令和８年６月１日現在

役　　名	氏　　名	役　　職　　名
会　　長	髙宮　眞樹	宮崎東諸県地域精神保健福祉協議会　会長
副 会 長	石田　　康	宮崎大学名誉教授
常務理事	直野　慶子	宮崎県精神保健福祉センター　所長
理　　事	藤元　ますみ	日南串間地域精神保健福祉協議会　会長
理　　事	竹内　康三	都城北諸地域精神保健福祉協議会　会長
理　　事 〃	内村　大介 〃	西諸地域精神保健福祉協議会　会長 宮崎県精神科病院協会　会長
理　　事	首藤　謙二	西都児湯地域精神保健福祉協議会　会長
理　　事	二宮　嘉正	日向入郷地域精神保健福祉協議会　会長
理　　事 〃	吉田　建世 〃	延岡地域精神保健福祉協議会　会長 宮崎県精神科医会　会長
理　　事	植松　昌俊	西臼杵地域精神保健福祉協議会　会長
理　　事	平野　羊嗣	宮崎大学医学部臨床神経科学講座　教授
理　　事	中村　　究	宮崎県精神科診療所協会　会長
理　　事	酒匂　晋也	宮崎県福祉保健部福祉保健課　課長
理　　事	隈元　淳二	宮崎県福祉保健部障がい福祉課　課長
理　　事	桒畑　貴志	宮崎県精神福祉連合会　理事長
理　　事	海江田　徳行	宮崎県断酒友の会　理事長
理　　事	永田　照明	宮崎県障害者社会参加推進センター　所長
監　　事	坂本　雅樹	宮崎県社会福祉協議会　事務局長
監　　事	古家　　隆	宮崎県保健所長会　会長

●役員数：理事19名（会長１名、副会長１名、常務理事１名を含む)、監事２名

●役員任期：令和７年４月１日～令和９年３月31日（２年間、新任者も同じ）

宮崎県精神保健福祉連絡協議会　会員名簿

正会員　　令和8年10月現在

組織・団体名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX 番号	ホームページ
宮崎東諸県地域精神保健福祉協議会	880-0032	宮崎市霧島1-1-2　中央保健所内	0985-28-2111	0985-23-9613	
日南串間地域精神保健福祉協議会	889-2536	日南市吾田西1-5-10　日南保健所内	0987-23-3141	0987-23-3014	
都城北諸地域精神保健福祉協議会	885-0012	都城市上川東3-14-3　都城保健所内	0986-23-4504	0986-23-0551	
西諸地域精神保健福祉協議会	886-0003	小林市大字堤3020-13　小林保健所内	0984-23-3118	0984-23-3119	
西都児湯地域精神保健福祉協議会	884-0004	児湯郡高鍋町大字蚊口浦5120-1　高鍋保健所内	0983-22-1330	0983-23-5139	
日向入郷地域精神保健福祉協議会	883-0041	日向市北町2-16　日向保健所内	0982-52-5101	0982-52-5104	
延岡地域精神保健福祉協議会	882-0803	延岡市大貫町1-2840　延岡保健所内	0982-33-5373	0982-33-5375	
西臼杵地域精神保健福祉協議会	882-1101	西臼杵郡高千穂町大字三田井1086-1　高千穂保健所内	0982-72-2168	0982-72-4786	
一般社団法人　宮崎県精神科病院協会	880-0013	宮崎市松橋1-1-32　コーポはまゆう7F	0985-60-2671	0985-60-2672	
一般社団法人　宮崎県精神科診療所協会	880-0806	宮崎市広島 1 -17-21　中村クリニック内	0985-32-7830	0985-32-7831	
宮崎大学医学部 臨床神経科学講座 精神医学分野	889-1692	宮崎市清武町木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp
社会福祉法人　宮崎県社会福祉協議会	880-8515	宮崎市原町2-22　県福祉総合センター内	0985-22-3145	0985-27-9003	https://www.mkensha.or.jp
宮崎県精神科医会	889-0511	延岡市松原町4-8850　吉田病院内	0982-37-0126	0982-37-0233	
特定非営利活動法人　宮崎県精神福祉連合会	880-0014	宮崎市大塚町浜川田4933-7	090-3415-8820	0985-64-8948	
一般社団法人　宮崎県断酒友の会	880-2213	宮崎市高岡町上倉永2644-3	090-5026-6603	0985-82-1898	
宮崎県障害者社会参加推進センター	880-0007	宮崎市原町2-22　県福祉総合センター内	0985-26-2950	0985-55-0258	https://www.miyashinren.jp/
宮崎県保健所長会	880-0032	宮崎市霧島1-1-2　中央保健所内	0985-28-2111	0985-23-9613	
宮崎県福祉保健課	880-8501	宮崎市橘通東2-10-1	0985-26-7074	0985-26-7326	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/
宮崎県障がい福祉課	880-8501	宮崎市橘通東2-10-1	0985-32-4471	0985-26-7340	https://www.pref.miyazaki.lg.jp/
宮崎県精神保健福祉センター	880-0032	宮崎市霧島1-1-2	0985-27-5663	0985-27-5276	https://www.seihocenter-miyazaki.com
宮崎大学名誉教授	889-1911	宮崎市大字恒久5567　野崎病院	0985-51-3111	0985-51-3114	

賛助会員

病院・診療所名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX 番号	ホームページ
宮崎大学医学部附属病院精神科	889-1692	宮崎市清武町木原5200	0985-85-2969	0985-85-5475	http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/hospital/
医療法人清芳会　井上病院	880-0123	宮崎市大字芳士80	0985-39-5396	0985-39-2410	http://www.inoue-hp.net
社会医療法人同心会　古賀総合病院	880-0041	宮崎市池内町数太木1749-1	0985-39-8966	0985-39-0634	https://www.kgh.or.jp
医療法人真愛会　髙宮病院	880-0841	宮崎市吉村町大町甲1931	0985-24-5678	0985-22-1571	https://www.takamiya.or.jp
一般財団法人弘潤会　野崎病院	880-0916	宮崎市大字恒久5567	0985-51-3111	0985-51-3114	https://www.koujunkai.jp/nozaki
医療法人慈光会　宮崎若久病院	880-0945	宮崎市福島町寺山3147	0985-51-1548	0985-52-7394	http://www.miyazaki-wakahisa.com
社会医療法人如月会　若草病院	880-0804	宮崎市宮田町7-37	0985-28-2801	0985-20-0819	https://www.miyazaki-wakakusa.or.jp

賛助会員

病院・診療所名	郵便番号	所在地住所	電話番号	FAX 番号	ホームページ
一般社団法人藤元メディカルシステム　大悟病院	889-1911	北諸県郡三股町大字長田1270	0986-52-5800	0986-52-5573	https://dh.fujimoto.com/
医療法人恵心会　永田病院	885-0084	都城市五十町5173	0986-23-2863	0986-23-2238	https://nagatahp.or.jp
一般社団法人藤元メディカルシステム　藤元病院	885-0055	都城市早鈴町17-4	0986-25-1315	0986-25-2473	https://fh.fujimoto.com/
医療法人一誠会　都城新生病院	885-0093	都城市志比田町3782	0986-22-0280	0986-25-1958	http://www.shinsei-hp.jp/
医療法人隆誠会　延岡保養園	882-0863	延岡市緑ヶ丘5-14-30	0982-33-6396	0982-35-3370	https://www.ryuseikai.jp/hoyouen
医療法人建悠会　吉田病院	889-0511	延岡市松原町4-8850	0982-37-0126	0982-37-0233	https://yoshidahospital.or.jp
医療法人同仁会　谷口病院	887-0034	日南市大字風田3861	0987-23-1331	0987-23-7739	https://www.taniguchi-hospital.jp
医療法人浩然会　内村病院	886-0002	小林市水流迫852番地1	0984-23-2575	0984-22-6442	https://www.uchimura-hospital.jp
医療法人信和会　小林保養院	886-0003	小林市堤2939	0984-22-2836	0984-22-5341	https://www.kobayashihoyoin.or.jp
医療法人和敬会　国見ヶ丘病院	882-1102	西臼杵郡高千穂町大字押方1130	0982-72-3151	0982-72-3153	https://www.kunimigaoka.or.jp
医療法人十善会　県南病院	888-0001	串間市大字西方3728	0987-72-0224	0987-72-5967	http://www.kennan-hospital.or.jp
医療法人向洋会　協和病院	883-0021	日向市大字財光寺1194-3	0982-54-2806	0982-54-3319	http://www.kyowahospital.jp/hospital
医療法人望洋会　鮫島病院	883-0033	日向市大字塩見14168	0982-54-6801	0982-53-7313	https://sameshima-hp.jp
医療法人社団慶城会　瀧井病院	883-0033	日向市大字塩見11652	0982-52-2409	0982-52-2403	https://www.takii-hospital.com
特定医療法人浩洋会　田中病院	889-0623	東臼杵郡門川町宮ヶ原4-80	0982-63-2211	0982-63-2211	https://tanaka-hp.or.jp
医療法人恵喜会　西都病院	881-0023	西都市大字調殿1010	0983-43-0143	0983-43-3625	https://saito-hospital.com
医療法人りっか会　ピア・ささき病院	880-0211	宮崎市佐土原町下田島21230	0985-73-1811	0985-72-0640	https://www.peer-ricka.jp
医療法人新花会　あいクリニック	880-0879	宮崎市宮崎駅東1-6-7	0985-25-0085	0985-25-5882	https://www.ai-clinic.pro
医療法人社団静心会　近間クリニック	880-0031	宮崎市船塚1-2	0985-24-6662	0985-24-7008	
医療法人社団凌雲会　福永内科神経科医院	889-1607	宮崎市清武町加納1-29-2	0985-85-6006	0985-55-0886	https://www.hukunaganaika-miyazaki.com
医療法人芳明会　早稲田クリニック	880-0933	宮崎市大坪町西六月2197-1	0985-53-3030	0985-54-5151	https://houmei.or.jp
野田クリニック	882-0052	延岡市萩町52	0982-35-7789	0982-34-0085	
医療法人こごう　こごうメンタルクリニック	880-0905	宮崎市中村西3-2-33	0985-55-1777	0985-55-1789	http://www.kogomentalclinic.jp
北野メンタルクリニック	880-0824	宮崎市大島町南窪814-4マルコービル105	0985-22-7588	0985-22-7587	
宮崎県社会福祉事業団　向陽の里診療所	880-1101	東諸県郡国富町大字本庄1407	0985-75-7752	0985-75-2979	
医療法人ハートピア　みよしクリニック	880-0814	宮崎市江平中町6-17	0985-35-1100	0985-38-1711	https://heartopia.net
みずのメンタルクリニック	883-0041	日向市北町1-2	0982-50-0855	0982-57-3627	
医療法人聖心会　中村クリニック	880-0806	宮崎市広島1丁目17－21　ポレスターアーバンシティ広島1F	0985-32-7830	0985-32-7831	https://www.nakamura-clinic-s.com
医療法人サクラ会　あけぼの診療所	889-1703	宮崎市田野町あけぼの２丁目５番地１	0985-74-5600	0985-74-5601	https://akebono-hp.com
医療法人社団博心会　大山脳神経外科クリニック	889-1411	児湯郡新富町富田1丁目3番地2	0983-26-8111	0983-33-6365	
医療法人社団弘文会　松岡内科医院	883-0014	日向市原町１丁目２番２号	0982-52-5407	0982-52-9891	
大貫内科	882-0803	延岡市大貫町5丁目1646番地1	0982-28-2200	0982-32-1500	
医療法人社団　龍水クリニック	880-0941	宮崎市北川内町乱橋3628-3	0985-86-8006	0985-86-8007	

精神保健福祉みやざき（第66号）

令和８年10月発行

編集発行　宮崎県精神保健福祉連絡協議会
（精神保健福祉センター）
〒880-0032　宮崎市霧島1－1－2
TEL　０９８５－２７－５６６３
FAX　０９８５－２７－５２７６

編集委員会　委員名簿

中央保健所健康づくり課	主任技師	松浦亜理
日南保健所健康づくり課	主任技師	礒貝公美
都城保健所健康づくり課	技師	福山美夢
小林保健所健康づくり課	技師	吉田光里
高鍋保健所健康づくり課	主任技師	森園愛子
日向保健所健康づくり課	技師	宮﨑茉央
延岡保健所健康づくり課	技師	平田藍
高千穂保健所健康づくり課	主任技師	永野由布子
精神保健福祉センター	副所長	田代健二
	主幹兼主任	小倉鉄夫
	主任主事	内田有美

宮崎県精神保健福祉センターからのお知らせ

ひきこもりに関する相談のご案内

次のような状態にあり支援を必要とする方

・何らかの生きづらさを抱え、生活上の困難を感じている方

・家族を含む他者との交流が限定的（希薄）な状態にある方

宮崎県ひきこもり地域支援センター

TEL：0985-27-8133　0985-44-2411

※8:30～17:15（土、日、祝祭日、12/29～1/3を除く）

※まずはお電話ください。

精神科医による診療相談のご案内

ご本人や家族の悩みに専門の精神科医が個別に相談に応じます。

相　談	主な内容	日　程	時　間
一般診療相談	精神的な不調全般	第1・3水曜日	いずれも午後１時～午後４時（予約制）
ストレス診療相談	ストレスによる精神的な不調、うつ病等	第2・3・4月曜日	
薬物関連診療相談	アルコール、薬物、ギャンブル等の依存症	第1・3木曜日	
思春期精神保健診療相談	思春期の精神的な不調等	第2・4木曜日	

※日程・時間は医師の都合等により変更となることがあります。

予約受付電話：TEL(0985)27-5663

こころの電話相談

月曜日～金曜日【午前９時～午後７時】

（土、日、祝祭日、12/29～1/3を除く）

専門の電話相談員が相談をお受けします。

※様々な悩みを幅広くお受けしています。今のつらい気持ちをただ聴いてもらいたい方もお気軽にどうぞ。

専用回線：TEL(0985)32-5566

図書室利用についてのご案内

センター内にある図書室は、どなたでもご利用できます。

貸出しも行っています。

■**図　書**　専門書、一般向け雑誌など

■**ビデオ DVD**　精神疾患の理解や精神障がい者の支援に関するものなど

■**パネル**　こころの健康、うつ、統合失調症、アルコール依存症やギャンブル依存症等各種シリーズがあり、研修会や各種行事等の展示としてもご利用できます。

※ホームページにパネル等を掲載しています。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会

宮崎県精神保健福祉連絡協議会や関係各団体の活動など精神保健福祉の取組を紹介しています。

アドレス https://www.miya-seiren.com

カラダのゲンキはココロから。

宮崎こころの保健室

思春期におけるこころの問題に関する相談窓口やストレス診断に加え、メールによる相談も受け付けています。

詳しくは、下記のホームページをご覧ください。

【アドレス】　https://miyakoro.com

家族教室のご案内

精神疾患（障がい）についての家族のための教室を開いています。

精神科医等の話を聴き、病気や障がいへの理解を深め、家族の対応方法を学びます。

開催時期、内容についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

○依存症家族教室　○発達障害家族教室

○ひきこもり家族教室

家族のつどいのご案内

同じ悩みを持つ家族同士が、つらい気持ちや不安を共有することで、混乱し孤立した状況から解放され、まずは家族自身が回復することを目的としたグループミーティングを行っています。

（匿名参加可）

開催日時についてはお問い合わせください。

TEL(0985)27-5663

○ギャンブル依存症者の家族のつどい

○薬物依存症者の家族のつどい

宮崎県精神保健福祉センター付近略図

交通のご案内

【宮崎駅から】

●タクシー：約10分

●バス利用：宮崎ナナイロ前バス停まで徒歩10分
宮崎ナナイロ前バス停から７番線（下北方行）で和知川原バス停下車徒歩５分
又は８番線（平和台行）で花殿町バス停下車徒歩５分

宮崎県精神保健福祉センター

〒880－0032　宮崎市霧島1丁目1－2　宮崎県総合保健センター４階

TEL：0985-27-5663／FAX：0985-27-5276

アドレス https://www.seihocenter-miyazaki.com

この広報紙は赤い羽根募金の配分を受けて発行しています。

宮崎県精神保健福祉連絡協議会